

教員個人調書（履歴書）・教育研究業績書の記入要領

（2024年6月版）

※ 様式は問いません。次の内容を含んで作成してください。

＜履歴書＞

1. 年号は西暦で記入してください。

2. 履歴書欄

① 生年月日（年齢）は、採用・昇任時の満年齢を記入してください。

3. 学歴・資格・免許欄

① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を、授与された学位及び称号を含め全て記入してください。該当するものがない場合には、最終学歴を記入してください。博士課程・博士課程後期において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「単位取得後退学」と記入してください。

② 学位については、専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。

③ 論文博士の場合には、取得機関名、専攻分野の名称及び学位論文の題目を記入してください。

④ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、教員、公認心理師、臨床心理士等の資格・免許についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。なお、外国における資格については、原語で記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。

⑤ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

⑥ 外国の大学での経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等は原語で記入し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

4. 職歴欄

① 全ての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。

② 各職歴について、職業の後に（〇〇〇〇年〇月まで）と記入して、在職期間を明確にしてください。現職については「現職に至る」と記入してください。

③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

5. 学会及び社会における活動等欄

① 「現在所属している学会等」は、所属している学会の名称を全て記入してください。

なお、芸術（美術・音楽）分野の場合には、所属会・団体名を記入してください。

② 所属する学会・団体等において、役職（理事、幹事、評議員等）に就任している場合には、役職名や就任期間を併記してください。

③ 審議会等の委員や社会における活動等については、専門分野や担当予定授業科目に

関連した事項のみを記入してください。

6. 賞罰欄

- ① 所属する学会・団体等や出版社からの表彰，職務上の表彰，懲戒処分，研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

7. 氏名署名欄

- ① 氏名及び記入年月日を記入し，押印してください。ただし，氏名を自筆で記入した場合には，押印は必要ありません。旧姓等の通称名を使用している場合には（ ）書きで本名を併記し，押印には本名の印を使用してください。

<教育研究業績書>

※ 様式は問いません。次の内容を含んで作成してください。

1. 年号は西暦で記入してください。

2. 記入年月日・氏名

- ① 記入年月日及び氏名を記入し，押印してください。ただし，氏名を自筆で記入した場合には，押印は必要ありません。

3. 「Ⅰ 専門分野・研究者情報」

- ① 専門分野は，主なものを3つ以内で記入してください。
- ② 研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。
- ③ Researcher ID, ORCID, 研究者番号をお持ちの方は記入してください。

4. 「Ⅱ 教育業績【指導歴・担当経験のある科目】」

- ① 卒業論文，修士論文，博士論文の指導を担当した学生数について，主指導・副指導別に大学名や期間とともに記入してください。
- ② これまで担当した主な科目について，授業実施機関や期間とともに記入してください。

5. 「Ⅱ 教育業績【教育改善の取組み】」

- ① これまでに実践した教育改善の取組みについて，教育内容・方法の工夫（ICTを活用した授業方法，授業時間外での学習効果促進のための取組み等，受講生の理解促進のために実践した工夫），作成した教科書・教材（授業や研究指導で使用するために作成した教科書，教材等。「Ⅲ 研究業績」との重複も可），大学等による教育評価（大学等における自己点検・評価での評価結果，学生による授業評価の結果等），実務経験を活かした教育実績（中学校・高等学校等での出前講座，大学等から受け入れた学生に対する指導等），その他に区分し，番号を付して新しい順に記載してください。

- ② 「実務経験を活かした教育実績」には、企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師、シンポジウムにおける講演等（「Ⅲ 研究業績」との重複も可）、所属機関や関係機関で行った講義・講習等、海外における調査研究経験等を含みます。
- ③ 「その他」には、大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰、国家試験問題等の作成、教育方法に関するセミナー・研修等の受講歴など、上記以外の教育業績について、幅広く記載してください（「Ⅳ 社会連携・国際連携の実績」との重複も可）。

6. 「Ⅲ 研究業績（芸術・創作分野における作品等、実務上の実績を含む）」

- ① 著書、学術論文、報告書・教科書・その他、学会発表、発表作品・演奏等、実務上の実績に区分し、番号を付して過去10年分を新しい順に記載してください。10年以前のものについては、「他〇編」と記入してください。
- ② 共著・共同発表の場合は、本人を含め全員の氏名を論文等に記載された順に記入し、本人の氏名にアンダーラインを付けてください。ただし、著者等が4名以上の場合、第4著者以降を省略し「他〇名」と記載しても可です。
- ③ 「著書」は、著者名、発表年、タイトル、最初と最後の頁と総頁数、出版社を明記してください。出版済みのものに限ります。
- ④ 「学術論文（プロシーディングス論文を含む）」は、査読付きと査読無しに区分し、著者名、発表年、論文タイトル、学会誌・雑誌名等、巻号、最初と最後の頁を明記してください。掲載が決定している論文については、発表年を「掲載決定済」としてください。
- ⑤ 「報告書・教科書・その他」は、科学研究費補助金や各種助成金等で行った研究やプロジェクトの報告書、作成した教科書等について、著書、学術論文に準じて記載してください。
- ⑥ 「学会発表」は、基調講演・招待講演、シンポジウム・ワークショップでの発表、一般の口頭発表・ポスター発表に区分し、主な学会発表について、発表者名、タイトル、学会大会名、開催場所、発表年月、掲載誌名等を明記してください。発表済みのものに限ります。
- ⑦ 「発表作品・演奏等」は、審査付き展覧会・リサイタル、コンクールでの受賞等（学術論文における査読付きに対応）とその他（査読無し）に区分し、制作者名、作品名・演奏題目、公開場所・時期等がわかるように概要を記載してください。
- ⑧ 「実務上の実績」は、専門分野又は担当予定の授業科目に関連する実務経験（研究開発の担当実績、各種審議会・行政委員会等の委員、行政機関における調査官等、研究会・ワークショップ等での報告や事例発表、調査研究・留学・海外事情調査等）について、従事した期間、職務内容等を記載してください（「Ⅳ 社会連携・国際連携の実績」との重複も可）。関連する報告書、手引書、マニュアル、雑誌等があれば併せて記載してください。

7. 「Ⅳ 社会連携・国際連携の実績」

- ① 国内外の大学や企業、行政との共同事業（共同研究を含む）への従事、自治体や公的団体との連携若しくは依頼による研究、文化振興等の活動への従事、各種講座（社会人

向け講座等)や研修会(校内研修会等)の講師, 高大連携事業への従事等, 過去10年分の社会連携・国際連携の実績について, 従事した期間, 職務内容等を新しい順に記載してください。

8. 「V 管理運営への参画状況」

- ① 教育機関における役職や委員の実績, 部署内や業務プロジェクトのリーダー等, 組織の管理運営に関わった実績について, 新しい順に記載してください。

9. 「VI 外部資金の獲得状況」

- ① 科学研究費補助金, 委託研究, 自治体・企業等との共同研究, 各種事業に係る予算等の獲得状況について, 過去10年分を新しい順に記載してください。

10. 「VII その他(教員資格審査, 特許・実用新案等)」

- ① 過去の課程認定委員会における教員審査で, 単独担当で「可」と判断されたことがあれば, 該当審査の審査年, 大学, 職名及び担当授業科目名を記載してください。
- ② 特許・実用新案等があれば, 内容や取得年月等について記載してください。
- ③ その他, 特記事項があれば記載してください。